

令和6年度第3回萩市地域公共交通会議 議事要旨

日 時：令和6年11月25日（月）14：00～

場 所：萩市役所2階 大会議室



1. 開会

【事務局】時間になりましたので、ただいまから「令和6年度 第3回萩市地域公共交通会議」を開催いたします。本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、誠に有難うございます。議事に入るまでの進行を担当させていただきます、事務局の萩市商工振興課の山本と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、会議の開催にあたり、会議の成立要件を確認いたします。本日は、委員26名のうち、19名の委員に出席していただいておりますので、会議の成立要件を満たしていることを報告いたします。

また、本日の会議は、設置要綱第4条第7項に「交通会議は、原則として公開とする」と規定されていることから、公開とさせていただきます。なお、会議の開催結果につきましても、基本的に議事録などを市のホームページ等で公表することとしておりますが、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

続きまして、本日の会議資料を確認させていただきます。本日の会議資料は、「次第」・「委員名簿」・「配席図」それから、議事に係る資料として、「資料1 萩市地域公共交通計画（素案）」をお手元に準備しております。資料の不足がございましたら、お申しつけください。また、本日の議事終了後、その他の報告とし

て、萩市都市政策課による東萩駅前整備事業基本計画の策定について、ご説明がありますので、お手元に資料を用意しております。

それでは、開会にあたりまして、会長の萩市商工観光部 村田部長がご挨拶申し上げます。

2. 会長あいさつ

【会長】萩市商工観光部長の村田です。開会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。本日はお忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。委員の皆様におかれましては、平素より萩市の公共交通事業に関し、多大なるご支援をいただき厚くお礼申し上げます。本日は令和6年度第3回の交通会議となります。第2回の交通会議後、10月には移動サービスの在り方検討会を開催し、地域の皆様のご意見をいただきながら計画素案を作成いたしました。字句の調整などを含め、まだ不十分な点がありますが、忌憚のないご意見をいただき、よりよい計画となるよう努めてまいりたいと考えております。本日頂いたご意見を踏まえ、修正案を再度まとめ、パブリックコメントを実施いたします。はなはだ簡単ではございますが、開会の挨拶とさせていただきます。

3. 議事

(1) 萩市地域公共交通計画（案）について

【事務局】議事（1）については、萩市地域公共交通計画策定支援業務を行っております、日本工営から説明をいただきます。

【日本工営】（素案の説明）

—質疑—

【村田会長】それでは、ご意見・ご質問がございましたらよろしくお願いいいたします。

【山口県バス協会 藤原委員】公共交通計画作成にあたり、地域の公共交通を守るとは本当に大変であると感じています。人口減少化で地域の移動手段を確保するには、担い手の確保は非常に重要です。山口県内バス運転者の高齢化率は、秋田県・高知県に続き第3位になりました。バス運転者の減少とともに、運転者の高齢化も進んでおり、令和5年12月末現在で山口県内のバス運転者の60歳以下の割合が36.2%となっています。中国地方では最も高く、年々右肩上がりです。全職業の平均年齢は43.9歳、バス運転者平均年齢は53.9歳であるため、山口県のバス運転者平均年齢はそれより5歳程度高い状況にあります。山

口県内では、35歳以下の運転者が22人（727人中）と非常に少ないです。現在はかろうじて路線が維持できている地域もありますが、今後5年以内には、地域の公共交通を支えることができなくなる可能性があります。運転者のイメージアップに関して、本日お配りした黄色のチラシを作成しています。運転者の思い出を聞かせていただき、候補者の確保につなげていきたいと考えています。京都市でこの取り組みを行い、運転者確保において多少効果があったことから、県予算をいただき同様の取り組みを実施しております。応募期間は12月20日までとなっているため、ぜひ応募いただきたいと思います。また、12月7日に県内Z世代を対象とした合同就職説明会を実施します。若い方をいかにバス・タクシーの運転者に引き込むかを考えていきたいです。隣国の韓国ではソウルからの人口流出、日本でも東京からの人口流出が起こっており、移住希望者は全国で300万人を超えています。移住によるメリット（食べ物、自然、育児、持ち家等）を萩市全体としてPRしていただいたらどうかと考えます。移住のデメリットとして、職業の量や幅が限られるということがありますが、移住者にぜひ萩市を選んでいただき、移住者も考慮した地域の担い手を考えていかれてはどうかと思います。

【事務局】全国的に人材不足はかなり厳しいですが、運転者不足は特に厳しいことを再認識しました。やはり移住の際に職業の確保は最重要項目であるため、市としても力を入れていることではありますが、今後は運転手の確保の視点も含め、移住対策を行っていきたいと思います。

【運輸支局 館委員】他分野の共創を進めていくにあたりDX活用が施策として挙げられていましたが、本日、国土交通省において、交通空白解消・官民連携プラットフォームを立ち上げ、会員を募集しています。様々な関係者に会員になっていただき、問題解決を目指していきたいと考えています。HPを参照していただき、ぜひ参加を検討していただきたいと思います。

【事務局】効率的な運行を進めていくにはDX技術を活用していく必要があると感じています。ぜひHPを参考にさせていただきます。

【高野副会長】p30 施策4-1に関して、本施策が今回の計画の柱になるということではありますが、広域移動・地域間移動・地域内移動が個別に動いてはうまく機能しないため、鉄道を軸として、それらを活かしながらつないでいくことが重要だという点は理解いたします。その上で、現在の有償運送や病院送迎など多様な地域内の輸送資源に加え、新たに共創組織を構築する際に、地域住民にこれまでと

何が違い、今後何が変わっていくのかをご理解いただくことが必要になります。また、なぜ公共交通が重要なのかという点に関して、自動車依存による地球温暖化の問題等も考慮していく必要があります。若い世代や中堅世代が、どうすれば公共交通を利用するのかに関しても検討する必要があると考えます。

【事務局】 効率化も大事ですが、新しい仕組みを作るときは実際に使っていただくようにしていくことが重要だと認識しています。今年度も地域で検討会を開催しましたが、実際に行う際には地域にいかに使ってもらうかという観点で仕組みを考えていきます。また、萩市ではカーボンニュートラル宣言も行っているため、環境問題も含めて公共交通の在り方を検討していきたいと思えます。

【村田会長】 そのほか、何かございますか？ ないようでしたら、採決に入らせていただきます。本計画（素案）について、萩市地域公共交通会議として承認することとしてよろしいでしょうか。また、字句訂正や内容について軽微な修正などについては、事務局に一任していただいてよろしいでしょうか。承認される方は挙手をお願いします。

（挙手－異議なし）

【村田会長】 ありがとうございます。承認多数ですので、議事（１）の萩市地域公共交通計画（素案）については承認されました。なお、この素案は萩市議会にて説明させていただいたのち、12月中旬頃から1か月間パブリックコメントを実施する予定です。

それでは、予定しておりました、本日の議事はこれで終了となります。その他、委員の皆様からの報告や事務局から連絡がありましたら、お願いします。

4. その他

（１）東萩駅前広場整備事業基本計画の策定について

【土木建築部】（資料説明）

（２）その他

【事務局】 第２回の交通会議で承認いただいた大井地区での自家用有償旅客運送について、11月1日に許可が出たため、住民へ有償となる周知や運行準備を進めていきながら11月28日よりはじまることになりました。大井地区をモデルとして、他地域でも展開を図ることができればよいと考えています。

5. 閉会

【事務局】委員の皆様には、長時間にわたってご議論をいただき、誠にありがとうございました。以上をもちまして、令和6年度第3回萩市地域公共交通会議を終了させていただきます。12月に実施するパブリックコメントでいただいた意見をもとに、必要に応じて計画を再度修正し、次回の交通会議で計画の最終案をお示しできるよう進めてまいります。次回会議は、1月下旬の開催を予定しております。本日は、どうもありがとうございました。

以上